

Formation from disappearance  
Yoshimi Miyamoto

# 宮本佳美 消滅からの形成 -Formation from disappearance-

2018年  
9月7日金—9月24日月・祝  
September 7 (fri.)—September 24 (mon.) 2018

**POLA MUSEUM ANNEX**

主催 || 株式会社ポーラ・オルビス・ホールディングス  
助成 || 公益財団法人五島記念文化財団 協力 || imura art gallery  
—Yoshimi MIYAMOTO

*Two years after finishing my studies in the Netherlands, I returned for another visit.  
The light of the Netherlands is strong and white. And the green of the fresh leaves is lighter than the deep ad  
Two years earlier, when I walked around looking for Dutch light,  
I came to the conclusion that the light seen in many Dutch paintings had disappeared due to en  
I started up at the Dutch sky, powerless to  
However, on this trip, I had a greater passion for the present—for the ephemeral, fleeting light that I can act  
and for life as it is now. Struggling against the strong Dutch wind and sudden changes in weather and light,  
I finally attempted to catch the light and shade from the flowers that were my  
I felt I had finally found what I was looking for.  
In my exploration of light and shade, the question that is always in the forefront is how strongly to paint some*

オランダで研修を終えてから2年後、  
オランダの光は強く白い。日本の  
Dutch lightを探して歩き回った2年  
人間による環境破壊、空気汚染によ  
私は、なすすべも無くオランダの空  
しかし、儂く消えゆく、今見えている  
オランダの強い風、急変する天気と  
探していたものをようやく見つけ出し  
儂く、消えゆくものをとれだけ力のあ  
私は光と影を探索し続ける事によっ



年後、再びオランダを訪れた。  
 本の深緑とは異なる薄い緑が広がる。  
 2年前、17世紀オランダ絵画に見られるような当時の光は  
 染によって消滅してしまったという結論に至った。  
 環境破壊と大気汚染。  
 の空を見つめていた。

いる光、今ある命に思いを強め臨んだ今回の訪蘭で、  
 気と光と戦う中、モチーフの花から光と影を必死に拾った。  
 け出したように思った。

力のあるものとして残すか。  
 によって、絵の中にその答えを見出したい。  
 something that is transient and fleeting.  
 宮本佳美

Yoshimi Miyamoto  
 —Formation from disappearance—  
 September 7 (Fri.) – September 24 (Mon.) 2018  
 11:00 – 20:00 Admission Free

今秋ポーラミュージアムアネックスでは、宮本佳美の五島記念文化賞美術新人賞研修帰国記念成果発表展を開催いたします。絵画における「光と影」を追求する画家・宮本佳美は、あらゆる色彩の水彩絵具を混ぜ合わせた「黒ならぬ黒」というモノトーンの世界を、繊細な綿布の上に表現しています。まるで光を操るように、丹念に、そしてスティックに「白」をハイライトに用いることで、白黒の絵画は研ぎすまされた佇まいを見せています。五島記念文化賞美術新人賞の受賞をきっかけにオランダへ海外研修に渡った宮本佳美は、17世紀のオランダ絵画における光—「ダッチライト」—に代わる現代の光の表現を追求するため、写真など光学的な技術も手段としながら、絵画という文脈において光と影というテーマに挑み続けています。本展では、描く対象の植物そのものを白くペイントすることで彫刻的な陰影を描き出した大作をはじめ、オランダ滞在中に感銘を受けた彫刻作品をモチーフに描いた作品など、新作を中心に計10点を発表いたします。

TALK EVENT | 2018.9.8 SAT 16:00-

9月8日(土) 16時から、土方明司氏(平塚市美術館館長代理、武蔵野美術大学客員教授)をゲストに迎え、トークイベントを開催いたします。

Surge of shadow | 2018 | 部分



flash over | 2017



summer | 2015



Everlasting truth | 2017

宮本佳美 Yoshimi Miyamoto

1981年福岡県生まれ。2008年、京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。2010年、イムラアートギャラリーにて個展「Immortal plant」を開催し、以降も継続して個展で作品発表を行う。2014年に五島記念文化賞美術新人賞を受賞したことをきっかけにオランダに渡って「光」をテーマとした制作を行う。主なグループ展に、2012年「現代美術の展望 VOCA展 2012 -新しい平面の作家たち-」(上野の森美術館)、2013年「水彩画 みづゑの魅力 -明治から現代まで-」(平塚市美術館)、2017年「ニッポンの写実 そっくりの魔力」(北海道立函館美術館、豊橋市美術館、奈良県立美術館)など。

巡回展 | imura art gallery

イムラアートギャラリー(京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31)  
 2018年10月5日金-10月27日土 | 12:00-18:00 | 日・月・祝日休  
 10月5日(金)は「ニューブランシュKYOTO 2018」の開催にあわせて22:00まで開廊いたします。また同日、展覧会のオープンにあわせて刊行いたします「宮本佳美作品集」のブックサイン・イベントを行います。

POLA MUSEUM ANNEX

〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目7-7 ポーラ銀座ビル 3階  
 11:00-20:00 (入場は19:30まで) 会期中無休 | 入場無料  
 お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)



公益財団法人 五島記念文化財団

【五島記念文化財団と五島記念文化賞】

五島記念文化財団は、豊かな生活環境の創造に力を尽くした、故・五島昇東急グループ代表の業績を記念するために設立されました。美術とオペラの分野で将来性のある優秀な新人を「五島記念文化賞」(美術新人賞、オペラ新人賞)として顕彰し、海外研修および研修終了後の成果発表への資金面の助成を行っています。なお本展は、海外研修終了後の成果発表として助成を受けています。

POLA MUSEUM ANNEX 東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口すぐ

